

Kunihiro Yamada,

“The cause of the high incidence of childhood thyroid cancer in Fukushima Prefecture after 2012 was 100% due to the nuclear accident factors.”

Calculation results of nuclear accident contribution rate (%) based on trend analysis of thyroid cancer incidence rate (number of cases per 100,000 people) by age group in 5-year increments for men and women in Fukushima Prefecture from 2008 to 2018



Fukushima prefecture from 2008 to 2018 in 5-year increments for men and women

Nuclear power plant accidents based on trend analysis of thyroid cancer incidence by age group

The contribution rate (%) is 100% for the 9 to 14 year old age group and 100% for the 15 year old age group.

From 24 years of age, the contribution rate to the nuclear

power plant accident was in the 90% range. ( 1) Before the nuclear power plant accident (2008 to 2010), the childhood thyroid cancer incidence rate in

Fukushima Prefecture was almost zero. 2) After the nuclear power plant

accident (2012-2018), the average incidence rate for children aged 5 to 9 years was 0.3, and the average incidence rate for

children aged 10 to 14 years sharply increased to 5.0. **Conclusion (Cause of**

**the high incidence of childhood thyroid cancer in Fukushima Prefecture) ``The**

**cause of the high incidence of childhood thyroid cancer in Fukushima**

**Prefecture since 2012 was 100% due to the nuclear accident."**

## Children by prefecture and age group used for data analysis

### Introducing the source of "Thyroid Cancer Incidence Rate"

Note: Enter the "National Cancer Incidence Monitoring Tabulation" on the National Cancer Center homepage (ganjoho.jp) below.

Then, you can see the "Incidence Number/Rate Report" in report form from 2015 to 2003, as shown on the bottom right page.

It is also available for download.

For data analysis, copy the relevant pages by prefecture and year from the annual report, and convert them to Excel information.

I have published it as a graph.

This information is available at [ganjoho.jp/public/qa\\_links/report/ncr/monitoring.html](http://ganjoho.jp/public/qa_links/report/ncr/monitoring.html). Also

Anyone can easily obtain the information at any time by entering "National Cancer Information Monitoring Tabulation" on the internet search screen.

## ● 全国がん登録関連 全国がん罹患モニタリング集計

1. 報告書の位置づけについて

2. 集計表データの利用について

わが国のがん罹患の実態把握と、地域がん登録事業の精度管理を目的として、すべての都道府県の協力の下、各地域の罹患データを収集し、がん罹患数・率の全国値及び、対象に偏りのない生存率を集計した報告書です。

### 1. 報告書の位置づけについて

全国がん罹患モニタリング集計 (MCIJ) は、厚生労働省第3次対がん総合戦略研究事業「がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究」班の研究活動として開始され、2011年より2015年診断症例まで、がん政策研究事業「都道府県がん登録データの全国集計と既存の資料の活用によるがん及びがん診療動向把握の研究」班 (研究代表者: 松田智大) が活動を引き続き、全都道府県に協力を呼びかけ、ご提供いただいた罹患データが基になっています。国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター-全国がん登録室が事務局となり、国立がん研究センターで開発されたサーベイランスシステムを用いて、品質管理と全国がん罹患数・率及び生存率の集計作業を行いました。

ここで得られた全国がん罹患数・率及び生存率の集計値は、研究班の研究成果ではありますが、2015年診断症例までは、この結果をわが国のがんの罹患統計、生存率統計として用いています。がんの罹患や生存率に関する最新の成績を、全国の都道府県がん対策担当課、ならびに、がん診療連携拠点病院にご活用いただくため、同センターでの取り組み事業の1つとしてがん情報サービスに掲載しています。

### 2. 集計表データの利用について

「都道府県がん登録データの全国集計と既存の資料の活用によるがん及びがん診療動向把握の研究」班では、地域がん登録の登録作業手順の標準化を推進してきましたが、地域がん登録は都道府県事業であり、データの収集から集計に至るまでの仕組みと方法が、地域によって異なりました。がん登録の標準化、データの精度ともに依然として不十分であった過去の罹患数・率や生存率をそのまま県間で比較すること、近年の数値や、届出が法律に基づいて義務化された2016年診断症例以降の数値と経年比較することは、誤ったがん統計の解釈につながりかねません。ご理解のほどお願いします。

また、各都道府県によって発行された地域がん登録事業報告書に掲載された成績と本報告書の値が一致しない場合があります。

がん登録に基づいたがん統計の解釈にあたっては、まとめの精度指標や、地域別集計表の上に掲載された精度指標 (DCN%, DCO%, IM比, MV割合) と、各県のページに記載された「データ解釈上の注意」をご熟読いただくようお願い申し上げます。

### 罹患数・率報告

- [全国がん罹患モニタリング集計 2015年罹患数・率報告 \(平成31年3月\)](#)   
※令和元年5月に追加の修正があったためPDFファイルを差し替えています。詳細は正誤表をご覧ください。
- [全国がん罹患モニタリング集計 2014年罹患数・率報告 \(平成30年9月\)](#) 
- [全国がん罹患モニタリング集計 2013年罹患数・率報告 \(平成29年3月\)](#)   
※平成30年6月に追加の修正があったためPDFファイルを差し替えています。詳細は正誤表をご覧ください。
- [全国がん罹患モニタリング集計 2012年罹患数・率報告 \(平成28年3月\)](#) 
- [全国がん罹患モニタリング集計 2011年罹患数・率報告 \(平成27年3月\)](#) 
- [全国がん罹患モニタリング集計 2010年罹患数・率報告 \(平成26年3月\)](#) 
- [全国がん罹患モニタリング集計 2009年罹患数・率報告 \(平成26年3月\)](#) 
- [全国がん罹患モニタリング集計 2008年罹患数・率報告 \(平成25年3月\)](#) 
- [全国がん罹患モニタリング集計 2007年罹患数・率報告 \(平成24年3月\)](#) 
- [全国がん罹患モニタリング集計 2006年罹患数・率報告 \(平成23年3月\)](#) 
- [全国がん罹患モニタリング集計 2005年罹患数・率報告 \(平成22年3月\)](#) 
- [全国がん罹患モニタリング集計 2004年罹患数・率報告 \(平成21年9月\)](#) 
- [全国がん罹患モニタリング集計 2003年罹患数・率報告 \(平成21年3月\)](#) 

# National Cancer Center, Cancer Information Service's ``Cancer Statistics, Tabulation Table Download'', National Cancer Registry Incidence Data (2016-2018)'', ``Regional Cancer Registry National Estimates: Cancer Incidence Data ( (1975-2015)

URL: [https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/data/dl/index.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/data/dl/index.html)

## 集計表ダウンロード

1. 死亡 **2. 罹患** 3. 生存率 4. 将来推計 5. 都道府県別喫煙率

[to English](#)

Windowsでは右クリック、MacではControlキーを押しながらクリックして「対象（リンク先ファイル）をファイルに保存」を選んでパソコンに保存できます。「読み取り専用」で開いてご利用ください。

### 1. 死亡

内容	全国がん死亡データ（1958年～2022年）
ファイル名	<a href="#">cancer_mortality(1958-2022).xls (3,028KB)</a>
	(注) 基準人口は昭和60年（1985年）モデル人口を使用
データソース・出典・利用のルール <span style="float: right;">+</span>	

内容	新基準人口：全国がん死亡データ（1979年～2021年）
ファイル名	<a href="#">cancer_mortality(1979-2021)H27.xls (2,209KB)</a>
	(注1) 基準人口は平成27年（2015年）モデル人口を使用 (注2) 全部位のみ1950年から20XX年（最新年）の全国がん死亡数・率を収載
データソース・出典・利用のルール <span style="float: right;">+</span>	

内容	都道府県別がん死亡データ（1995年～2021年）
ファイル名	全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率（1995年～2021年） <a href="#">pref_AllCancer_mortality(1995-2021).xls (3,714KB)</a> 部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2021年） <a href="#">pref_CancerSite_mortalityASR75(1995-2021).xls (3,102KB)</a>
	(注) 基準人口は昭和60年（1985年）モデル人口を使用
データソース・出典・利用のルール <span style="float: right;">+</span>	

### 2. 罹患

#### 1) 全国がん登録

内容	全国がん罹患データ（2016年～2019年）
ファイル名	<a href="#">cancer_incidenceNCR(2016-2019).xls (638KB)</a>
データソース・出典・利用のルール <span style="float: right;">+</span>	

内容	都道府県別がん罹患データ（2016年～2019年）
ファイル名	<a href="#">pref_cancer_incidenceNCR(2016-2019).xls (15,242KB)</a>
データソース・出典・利用のルール <span style="float: right;">+</span>	

#### 2) 地域がん登録

内容	全国推計値：がん罹患データ（1975年～2015年）
ファイル名	<a href="#">cancer_incidence(1975-2015).xls (2,222KB)</a>
データソース・出典・利用のルール <span style="float: right;">+</span>	

内容	全国実測値：がん罹患データ（2014年～2015年）
ファイル名	<a href="#">cancer_incidence47pref(2014-2015).xls (289KB)</a>
データソース・出典・利用のルール <span style="float: right;">+</span>	

内容	高精度地域実測値：がん罹患年次推移データ（1985年～2015年）
ファイル名	<a href="#">cancer_incidence30pref(1985-2015).xls (1,970KB)</a>
データソース・出典・利用のルール <span style="float: right;">+</span>	

# National Cancer Center, Cancer Information Service ``National Aggregation of In-Hospital Cancer Registries" Data such as the number of cases of cancer for 27 cancer sites in 47 prefectures from 2008 to 2020 are available

URL:[https://ganjoho.jp/public/qa\\_links/report/hosp\\_c/hosp\\_c\\_registry.html](https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_registry.html)

## 院内がん登録関連 院内がん登録全国集計

1. 2021年集計の報告書について 2. 集計表データの利用について 3. 全国集計の今後について  
4. 全国集計 報告書 5. 小児AYA集計 報告書 6. 特別報告書 7. 過去の報告書

全国のがん診療連携拠点病院等において、1) 専門的ながん医療を提供する医療機関における各がん種、進行度、その治療の分布を把握し、国や都道府県のがん対策に役立てる、2) 各施設が全国と比較した自施設のがん診療状況を把握し、がん診療の方向性等を検討する、3) 院内がん登録情報等を適切に公表することにより、がん患者さん及びご家族等の医療機関の選択等に資することを目的に、その基礎資料として院内がん登録のデータを集計した報告書です。2011年診断例からは、都道府県から推薦された施設（以下、都道府県推薦病院）、2017年診断例からは本集計に任意で参加を希望された施設からもデータの提供をいただき、集計を行っています。

### 1. 2021年集計の報告書について

2016年から登録する項目が大きく変更となり、新しい標準登録様式に基づいて登録された2021年1月～12月に初診された「がん」の情報を収集しました。2022年6月時点のがん診療連携拠点病院等453施設と小児がん拠点病院6施設と都道府県推薦病院340施設、任意参加病院71施設、合わせて870施設から合計約110万件の院内がん情報を収集し、集計を行いました。また、本報告書では「2021年の新型コロナウイルス感染症下におけるがん診療の実態」についての特別集計も併せて報告いたします。

### 2. 集計表データの利用について

2019年全国集計より症状緩和的治療の有無を除き、すべての都道府県・施設別集計を院内がん登録全国集計結果閲覧システムにて検索できるようになりました。関係者におかれては、院内がん登録全国集計結果閲覧システムから地域や自施設の拠点病院の集計対象年における状況がどうであったか、あるいは自施設の院内がん登録の精度はどうであったかを検討する基礎資料としてご利用いただきたく存じます。

院内がん登録全国集計（2016年診断例以降）

	集計対象施設	全登録数
2021年診断例	870施設	1,099,864件
2021年診断例（速報） （がん診療連携拠点病院等+小児がん拠点のみ）	455施設	806,589件
2020年診断例	863施設	1,040,379件
2019年診断例	849施設	1,100,415件
2018年診断例	828施設	1,039,193件
2017年診断例	842施設	1,018,616件
2016年診断例	778施設	962,308件

#### <結果詳細（腫瘍情報）の集計対象>

胃がん、大腸がん（結腸がん、直腸がん）、肝細胞がん、肝内胆管がん、肺小細胞がん、肺非小細胞がん、乳がん、食道がん、膵臓がん、高分化型神経内分泌腫瘍（膵臓）、前立腺がん、子宮頸がん、子宮体がん、子宮内腫、膀胱がん、甲状腺がんの乳頭・濾胞がん/未分化がん/嚢胞がん、胆嚢がん、喉頭がん、腎がん、腎盂尿管がん、卵巣がん

※各部位に発生した主に上皮性のがんを集計対象としています。  
※2018年診断例より病期の分類が変わりました（UICC TNM分類第8版）

一般に実臨床で用いられている取り扱い規約分類とは異なりますのでご注意ください。  
単純な比較が難しい情報もありますが、こうした情報を公表することにより、さらなる院内がん登録情報の精度の向上、そして臨床における診療実態把握の基礎資料としてご活用いただければ幸いです。

#### <データをご覧いただく際の注意点>

- 実際の診療に用いられている病期と異なる国際病期分類で集計しています。
- 結果詳細のがん種別集計では、未治療である状況で初診された場合の初回治療（最初の診断に引き続き行なわれた治療）を集計しており、拠点病院等の実態（どんな治療が何件されているか、など）そのものをあらわしているわけではありません。
- 各施設から提出された匿名化されたデータを集計しているため、同一人物が異なる施設を受診された場合には、同じ人の同じ「がん」が重複してカウントされることになり、実際の「がん」の数そのものを反映しているわけではありません。

## Ranking of cancers in children and AYA (adolescents and young adults)

(1) Childhood cancer: 1 Leukemia (38%), brain tumor (16%), lymphoma (9%), germ cell tumor/gonocytoma (8%), neuroblastoma

(7%) (2) 15 years old ~19 years old: 1 Leukemia (24%), germ cell tumor/sex cell tumor (17%), lymphoma (13%), brain tumor (10%), myeloma

(9%) (3) 20 years old to 29 years old Age: 1 Germ cell tumor/Sex cell tumor (16%) 2 Thyroid cancer (12%), Leukemia (11%), Lymphoma (10%),

Uterine tumor (9%) (4) Ages 30-39: 1 Female breast cancer (22%), cervical cancer (13%), germ cell tumor/sex cell carcinoma (8%), thyroid cancer (8%), colorectal cancer (8%)

表 罹患率が高いがん種順位（全がんに占める割合）（注1、2）

	1位	2位	3位	4位	5位
0から14歳 (小児)	白血病[38%]	脳腫瘍[16%]	リンパ腫[9%]	胚細胞腫瘍・性腺腫瘍[8%]	神経芽腫[7%]
15から19歳	白血病[24%]	胚細胞腫瘍・性腺腫瘍[17%]	リンパ腫[13%]	脳腫瘍[10%]	骨腫瘍[9%]
20から29歳	胚細胞腫瘍・性腺腫瘍[16%]	甲状腺がん[12%]	白血病[11%]	リンパ腫[10%]	子宮頸がん[9%]
30から39歳	女性乳がん[22%]	子宮頸がん[13%]	胚細胞腫瘍・性腺腫瘍[8%]	甲状腺がん[8%]	大腸がん[8%]

(注1) 国際小児がん分類（International Classification of Childhood Cancer）第3版のグループに基づく悪性腫瘍の順位（ただし「その他の癌」は部位で分類）。

(注2) がん種間の比較のためいずれのがん種も悪性の腫瘍のみ。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス 小児・AYA世代のがん罹患 2. 小児・AYA世代のがん種の内訳の変化

## Thyroid cancer incidence rate (per 100,000 people) by age group in 5-year increments for men and women nationwide from 2008 to 2018

Reference 1 “National Cancer Incidence Monitoring Tabulation” on the National Cancer Center

homepage (ganjoho.jp) URL: [ganjoho.jp/public/qa\\_links/report/ncr/monitoring.html](http://ganjoho.jp/public/qa_links/report/ncr/monitoring.html)

National Cancer Registry Incidence Data (2016~ 2018)”, “Regional Cancer Registry National Estimates: Cancer Incidence Data (1975-2015)”

URL:[https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/data/dl/index.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/data/dl/index.html)

県名	性別	調査年	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	全年齢
全国	男女	2008	0.0	0.2	0.2	0.9	2.3	3.2	4.9	7.2	10.4	12.0	11.5	15.3	15.7	15.2	16.9	15.8	12.7	14.3	9.1
	男女	2009	0.0	0.0	0.1	0.8	2.2	4.5	6.9	6.9	10.5	12.0	14.6	15.9	18.5	16.8	18.4	19.0	15.4	13.8	10.2
	男女	2010	0.0	0.0	0.1	1.2	3.2	3.9	6.4	7.6	11.4	12.1	15.2	16.3	19.4	17.7	18.3	17.5	15.8	13.6	10.4
	男女	2011	0.0	0.1	0.5	0.9	4.7	3.8	6.7	9.1	11.1	12.8	14.4	16.9	17.0	20.5	19.2	17.3	13.2	15.5	10.8
	男女	2012	0.0	0.1	0.3	1.4	3.7	4.1	6.5	8.0	10.6	13.3	16.2	15.5	17.6	19.9	19.8	19.4	15.4	13.6	10.9
	男女	2013	0.0	0.0	0.6	2.1	2.9	4.5	6.0	9.6	12.8	14.6	16.6	18.3	20.4	21.4	22.8	22.1	18.4	14.2	14.1
	男女	2014	0.0	0.1	0.5	1.3	2.8	4.7	6.5	9.3	10.7	12.6	14.2	16.4	18.6	20.4	20.3	19.7	17.1	15.8	11.3
	男女	2015	0.0	0.1	0.4	1.5	3.4	5.0	6.7	9.7	11.3	13.0	15.6	17.0	18.7	21.1	22.2	19.5	17.9	15.5	11.8
	男女	2016	0.1	0.1	0.4	1.8	4.4	6.9	9.8	13.2	15.4	16.1	20.2	21.8	22.7	25.6	26.0	24.1	21.0	17.2	14.8
	男女	2017	0.0	0.1	0.4	2.2	4.4	7.3	9.7	13.6	15.3	16.2	17.8	20.3	21.1	24.8	25.0	22.2	19.3	17.5	14.3
	男女	2018	0.0	0.1	0.5	1.8	4.9	8.0	10.9	12.9	14.7	16.7	20.1	21.3	20.4	23.6	26.3	24.0	21.9	16.8	14.7

## Thyroid cancer incidence rate (per 100,000 people) by age group in 5-year increments for men and women in Fukushima Prefecture from 2008 to 2018

Reference 1 “National Cancer Incidence Monitoring Tabulation” on the National Cancer Center

homepage (ganjoho.jp) URL: [ganjoho.jp/public/qa\\_links/report/ncr/monitoring.html](http://ganjoho.jp/public/qa_links/report/ncr/monitoring.html)

National Cancer Registry Incidence Data (2016~ 2018)”, “Regional Cancer Registry National Estimates: Cancer Incidence Data (1975-2015)”

URL:[https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/data/dl/index.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/data/dl/index.html)

県名		調査年	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	全年齢
福島県	男女	2008	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	3.9	8.7	5.0	5.3	6.3	10.8	8.4	13.0	12.3	10.4	6.5	9.3	6.0
	男女	2009	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	3.8	5.0	6.3	7.5	5.5	12.1	7.3	18.7	8.0	11.9	14.8	9.5	4.9	7.1
	男女	2010	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	5.8	5.1	3.1	5.1	2.4	7.2	11.5	12.4	15.7	12.0	19.3	9.3	9.3	7.0
	男女	2011	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	1.9	2.6	7.6	7.3	5.0	10.4	8.5	12.9	15.1	13.4	10.1	18.9	7.3	7.4
	男女	2012	0.0	0.0	3.0	10.6	7.0	4.0	2.7	6.9	9.7	13.4	14.3	16.4	12.8	18.7	22.2	14.8	14.3	10.4	10.7
	男女	2013	0.0	1.2	7.2	38.2	11.7	0.0	5.5	11.1	14.3	16.0	14.6	16.2	15.0	15.7	22.2	14.1	15.3	8.8	13.1
	男女	2014	0.0	0.0	5.3	21.9	16.9	4.3	4.7	7.4	17.1	15.2	7.1	17.1	16.8	15.5	17.9	22.4	24.1	16.8	13.3
	男女	2015	0.0	1.2	9.8	31.5	17.8	4.5	5.8	9.3	19.4	17.0	16.1	17.6	17.5	22.0	20.4	18.7	15.4	11.2	14.4
	男女	2016	0.0	0.0	2.4	10.8	8.1	8.1	7.1	11.7	16.4	17.2	18.5	23.9	17.3	15.2	21.7	19.8	17.6	19.0	14.2
	男女	2017	0.0	0.0	3.7	15.2	8.2	6.0	9.3	19.4	15.9	16.4	16.1	20.5	14.0	21.8	26.1	23.8	18.0	16.5	15.2
男女	2018	0.0	0.0	3.8	9.0	11.0	5.0	14.7	11.4	13.1	10.6	21.4	21.7	22.3	21.3	18.3	18.6	17.0	14.2	14.3	

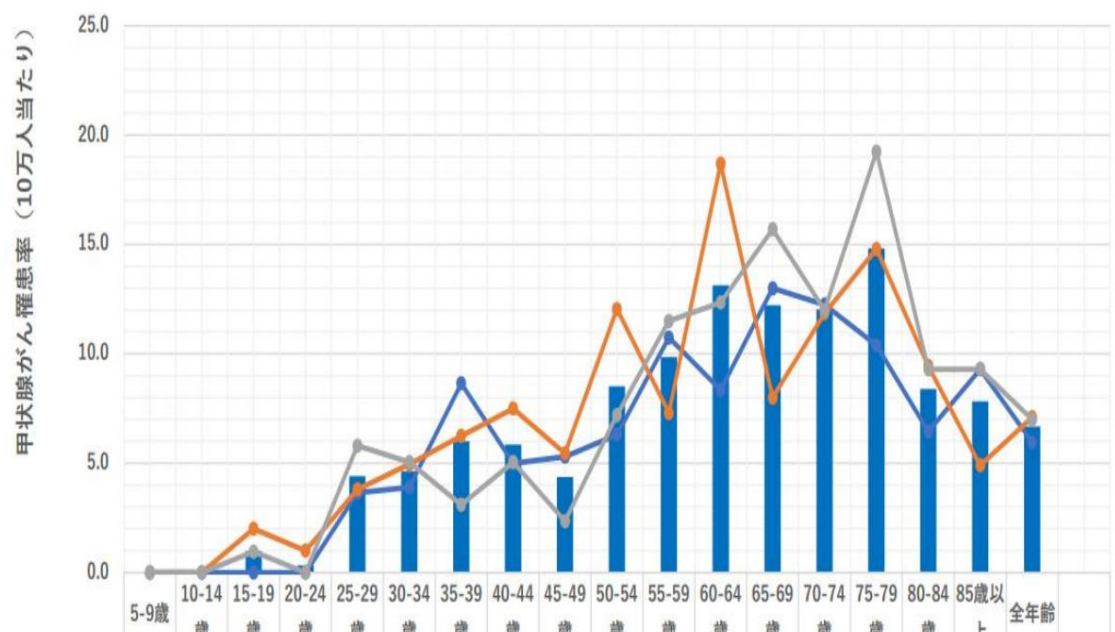
Distribution of average incidence rates of thyroid cancer in Fukushima prefecture and men and women from 2008 to 2010 (before the nuclear accident) by age group

Note 1: Bar graph is average incidence rate from 2008 to 2010.

Note 2: Average incidence of thyroid cancer in men and women aged 5 to 9 before the nuclear accident

The ratio was 0, 0 for ages 10 to 14, and 1.0 for ages 15 to 19.

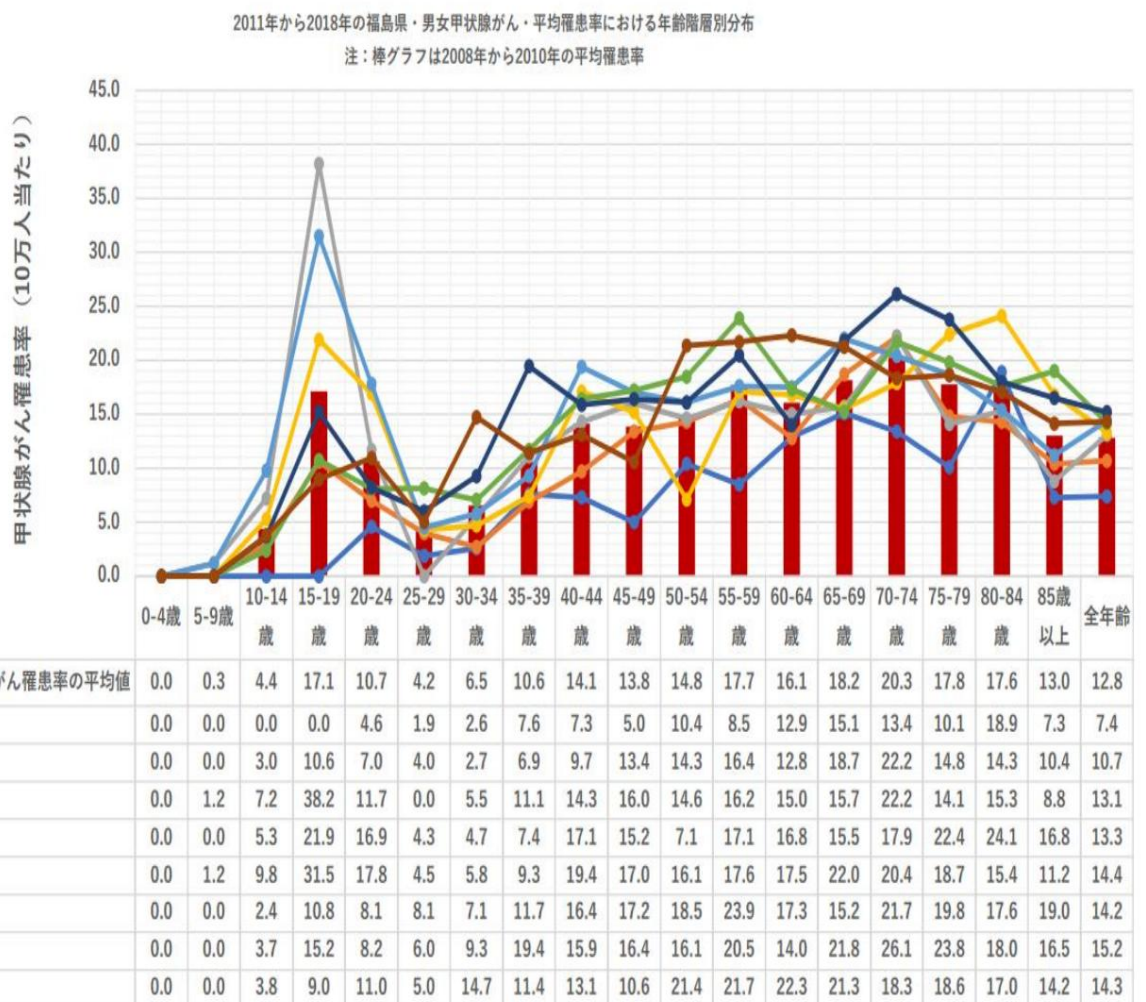
2008年から2010年の福島県・男女甲状腺がん・平均罹患率における年齢階層別分布  
注：棒グラフは2008年から2010年の平均罹患率



■ 2,008年から2010年の甲状腺がん罹患率の平均値	0.0	0.0	1.0	0.3	4.4	4.6	6.0	5.9	4.4	8.5	9.9	13.1	12.2	12.0	14.8	8.4	7.8	6.7
● 2008	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	3.9	8.7	5.0	5.3	6.3	10.8	8.4	13.0	12.3	10.4	6.5	9.3	6.0
● 2009	0.0	0.0	2.0	1.0	3.8	5.0	6.3	7.5	5.5	12.1	7.3	18.7	8.0	11.9	14.8	9.5	4.9	7.1
● 2010	0.0	0.0	1.0	0.0	5.8	5.1	3.1	5.1	2.4	7.2	11.5	12.4	15.7	12.0	19.3	9.3	9.3	7.0

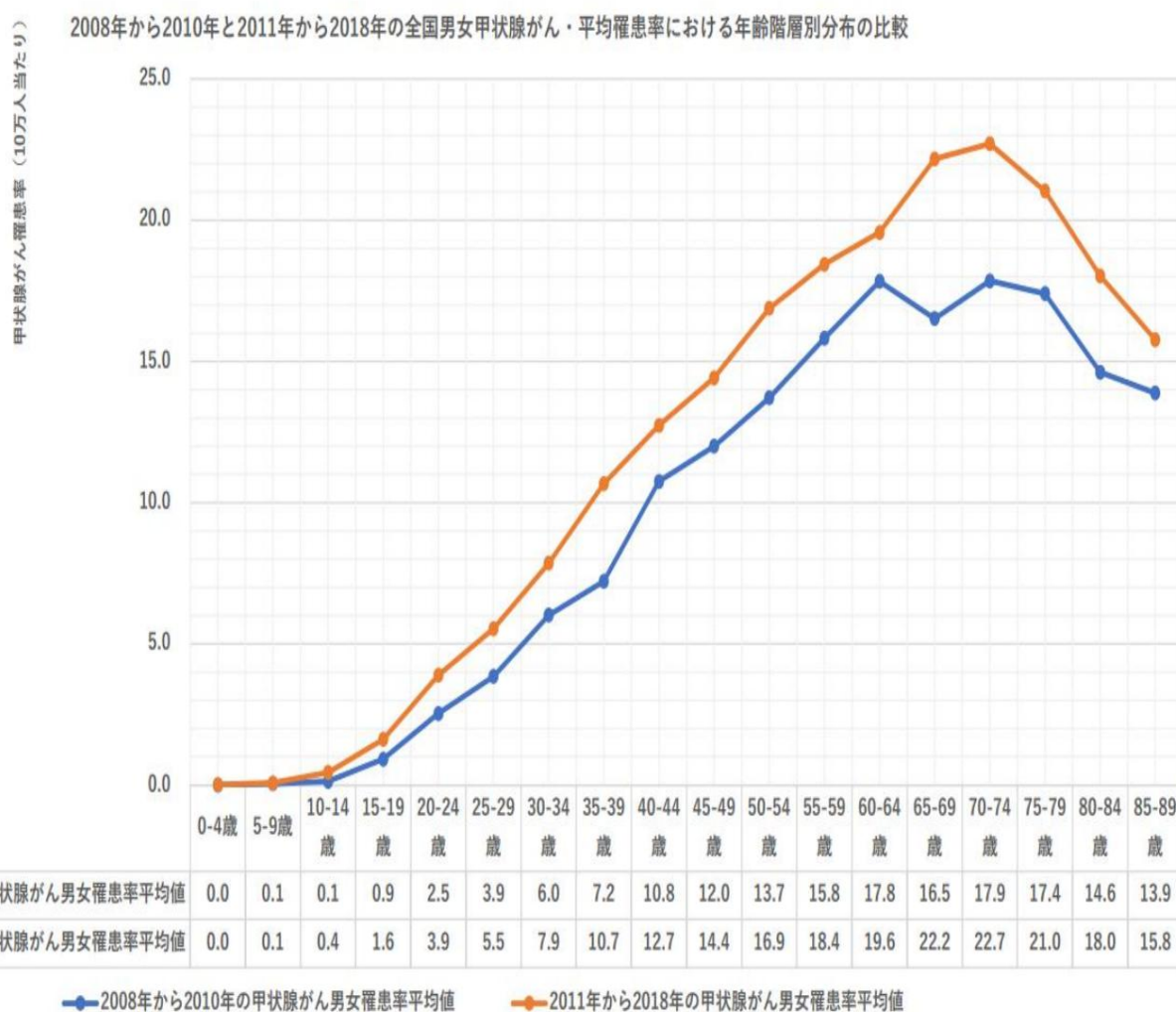
## Distribution of average incidence rates for thyroid cancer in men and women in Fukushima Prefecture from 2011 to 2018 (after the nuclear accident) by age group

Note 1: The bar graph shows the average incidence rate from 2008 to 2010. Note 2: After the nuclear accident, the average incidence rate for 5- to 9-year-olds was 0.3, 4.4 for 10- to 14-year-olds, and 17.1 for 15- to 19-year-olds. It was rising rapidly



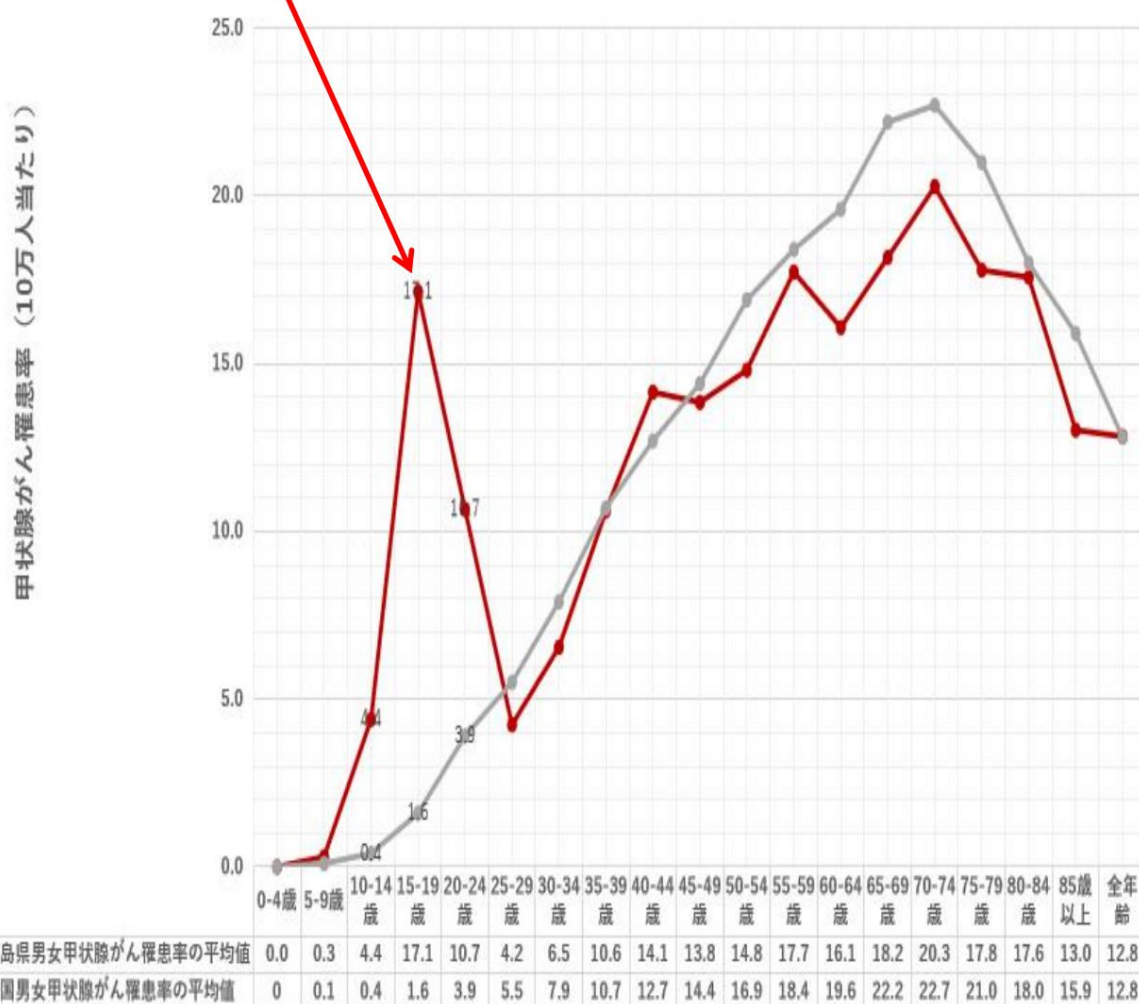
## Comparison of age group distribution of average incidence rates for thyroid cancer in men and women nationwide from 2008 to 2010 and from 2011 to 2018

Note: Nationwide incidence rates for thyroid cancer by gender and age after the nuclear power plant accident tended to increase slightly as age increased compared to the time of the nuclear power plant accident.



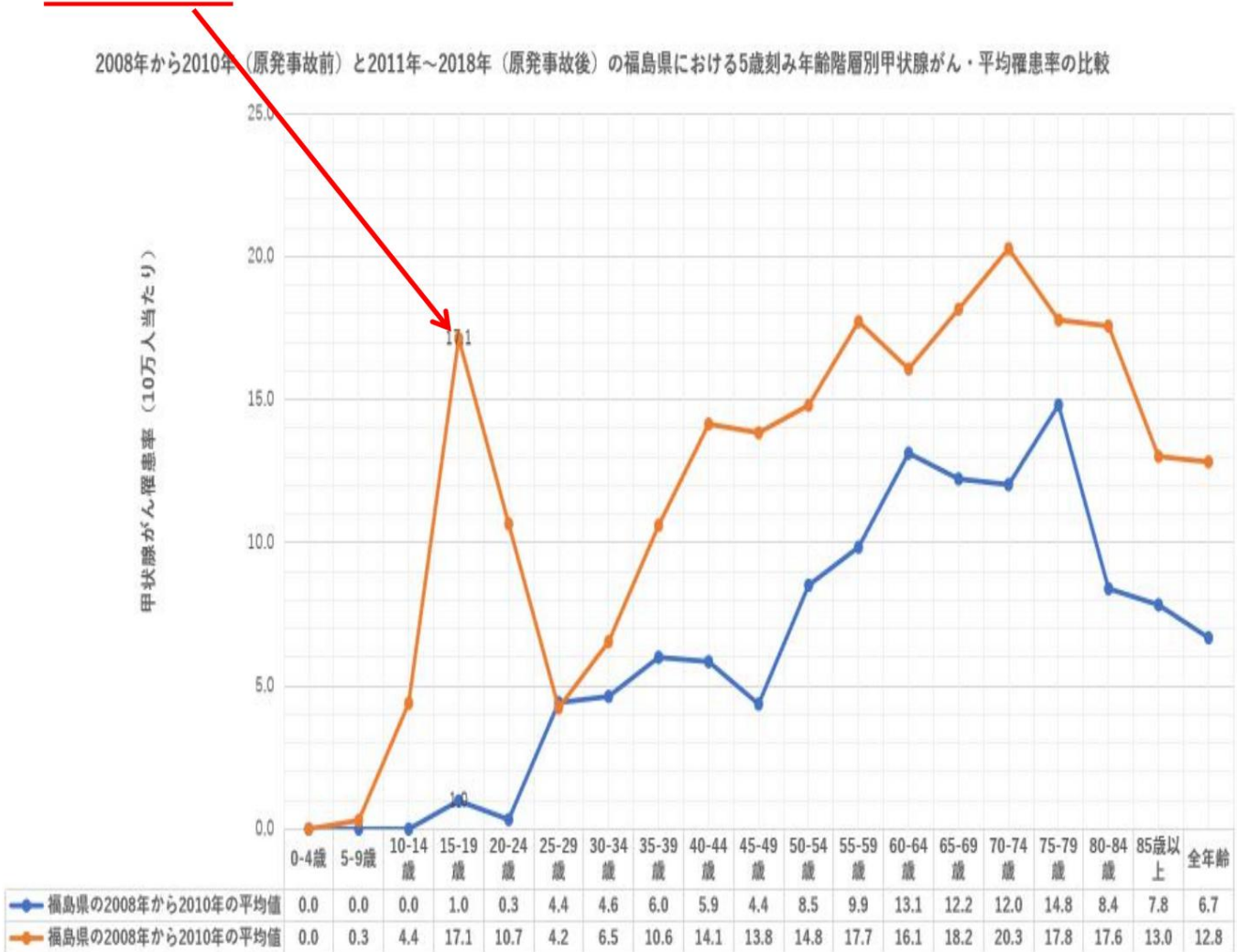
Comparison of age group distribution of average incidence rates of thyroid cancer for men and women in Fukushima Prefecture and Japan from 2011 to 2018 (after the nuclear accident) **Note : The incidence rate was rapidly increasing compared to the national incidence rate.**

2011年から2018年（原発事故後）の福島県と全国の男女甲状腺がん・平均罹患率における年齢階層別分布の比較



## Comparison of average incidence rates of thyroid cancer by 5-year age group in Fukushima Prefecture between 2008 and 2010 (before the nuclear accident) and 2011 and 2018 (after the nuclear accident)

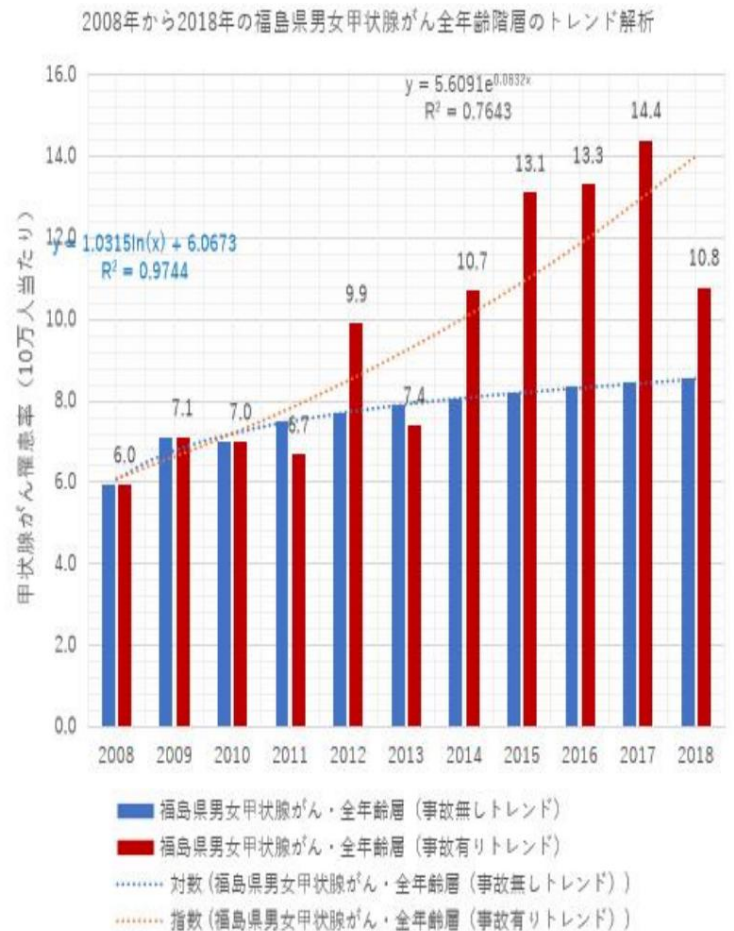
Note: The incidence of thyroid cancer in men and women aged 5 to 24 in Fukushima Prefecture increased rapidly after the nuclear accident.



## Trend analysis of thyroid cancer in all age groups in Fukushima prefecture from 2008 to 2018

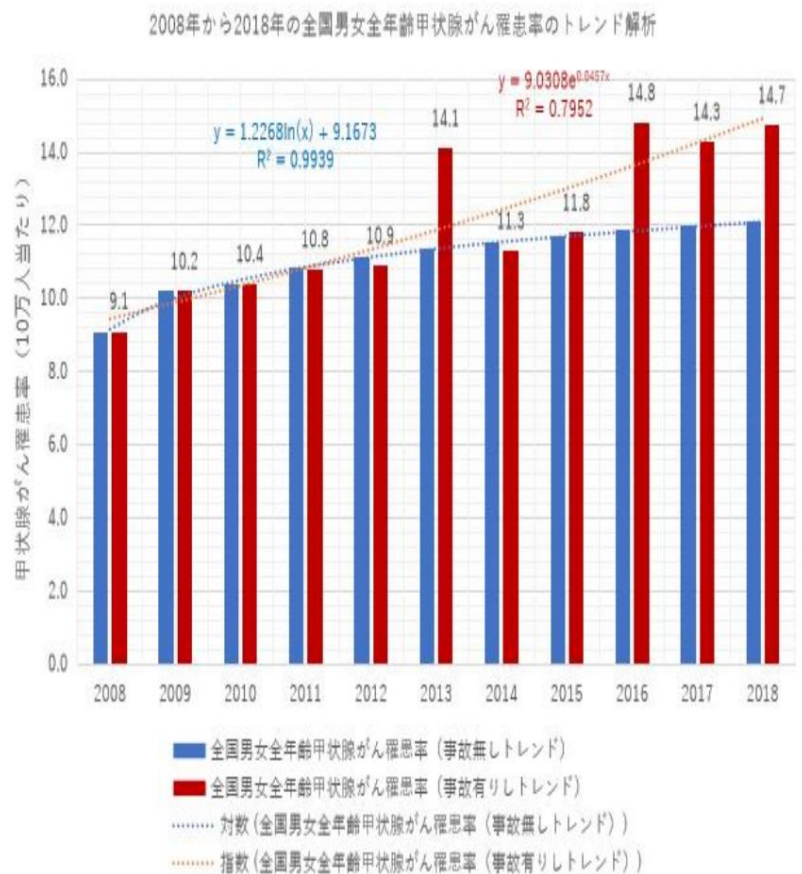
Note: In Fukushima Prefecture, the average contribution rate of nuclear power plant accident factors to the incidence of thyroid cancer among men and women of all age groups is in the 30% range.

経過年	調査年	福島県男女 甲状腺がん・全年齢層 (事故無しトレンド)	福島県男女甲 状腺がん・全年齢層 (事故有りトレンド)	罹患率の 過剰値	罹患率の 原発事故 寄与率(%)
1	2008	6.0	6.0		
2	2009	7.1	7.1		
3	2010	7.0	7.0		
4	2011	7.5	6.7		
5	2012	7.7	9.9	2.2	22
6	2013	7.9	7.4	0.0	0
7	2014	8.1	10.7	2.6	25
8	2015	8.2	13.1	4.9	37
9	2016	8.3	13.3	5.0	37
10	2017	8.4	14.4	6.0	41
11	2018	8.5	10.8	3.4	32
2011年から2018年の平均値		8.1	10.8	3.4	32



Trend analysis of the national thyroid cancer incidence rate for men and women of all ages from 2008 to 2018 Note: The average contribution rate of nuclear power plant accident factors to the national thyroid cancer incidence rate for men and women of all age groups is 8%.

経過年	調査年	全国男女全 年齢甲状腺がん 罹患率(事故 無しトレンド)	全国男女全 年齢甲状腺 がん罹患率 (事故有り トレンド)	罹患率の過剰 値	寄与率 (%)
1	2008	9.1	9.1		
2	2009	10.2	10.2		
3	2010	10.4	10.4		
4	2011	10.9	10.8	0.0	0
5	2012	11.1	10.9	0.0	0
6	2013	11.4	14.1	0.0	0
7	2014	11.6	11.3	2.7	24
8	2015	11.7	11.8	0.0	0
9	2016	11.9	14.8	0.1	1
10	2017	12.0	14.3	2.9	21
11	2018	12.1	14.7	2.3	16
2011年から2018年 の平均値		11.6	12.8	1.0	8

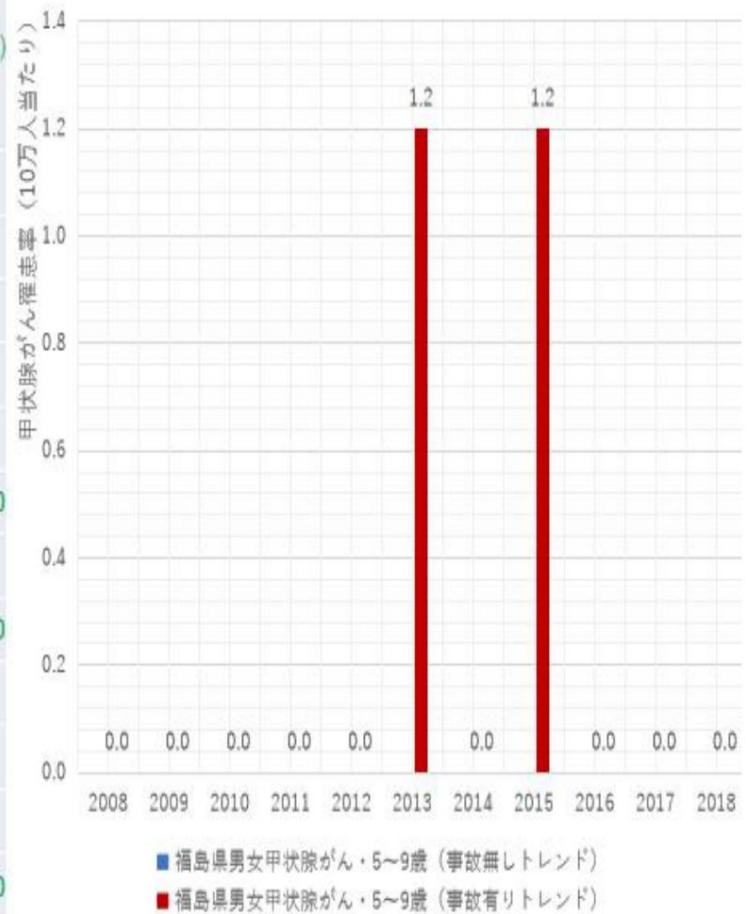


# Trend analysis of 5-9 year old thyroid cancer in Fukushima prefecture from 2008 to 2018

Note: The contribution rate to the nuclear power plant accident for the 5 to 9 year old age group is 100%.

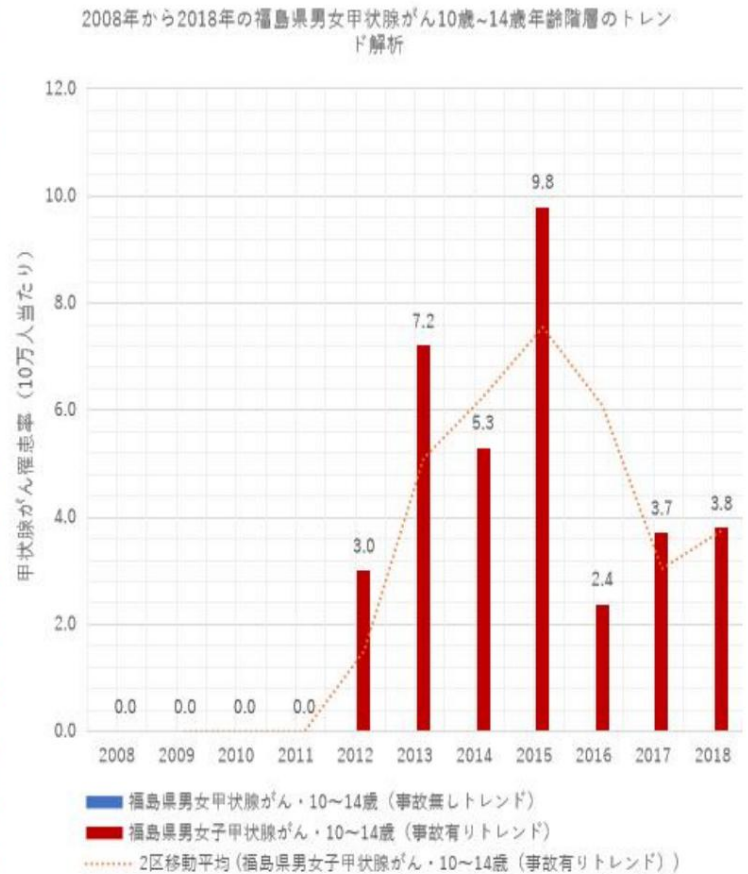
経過年	調査年	福島県男女甲状腺がん・5~9歳 (事故無しトレンド)	福島県男女甲状腺がん・5~9歳 (事故有りトレンド)	罹患率の過剰値	罹患率の原発事故寄与率(%)
1	2008	0.0	0.0		
2	2009	0.0	0.0		
3	2010	0.0	0.0		
4	2011	0.0	0.0	0.0	
5	2012	0.0	0.0	0.0	
6	2013	0.0	1.2	1.2	100
7	2014	0.0	0.0	0.0	
8	2015	0.0	1.2	1.2	100
9	2016	0.0	0.0	0.0	
10	2017	0.0	0.0	0.0	
11	2018	0.0	0.0	0.0	
2011年から2018年の 平均値		0.0	0.3	0.3	100

2008年から2018年の福島県男女甲状腺がん5歳~9歳年齢階層のトレンド解析



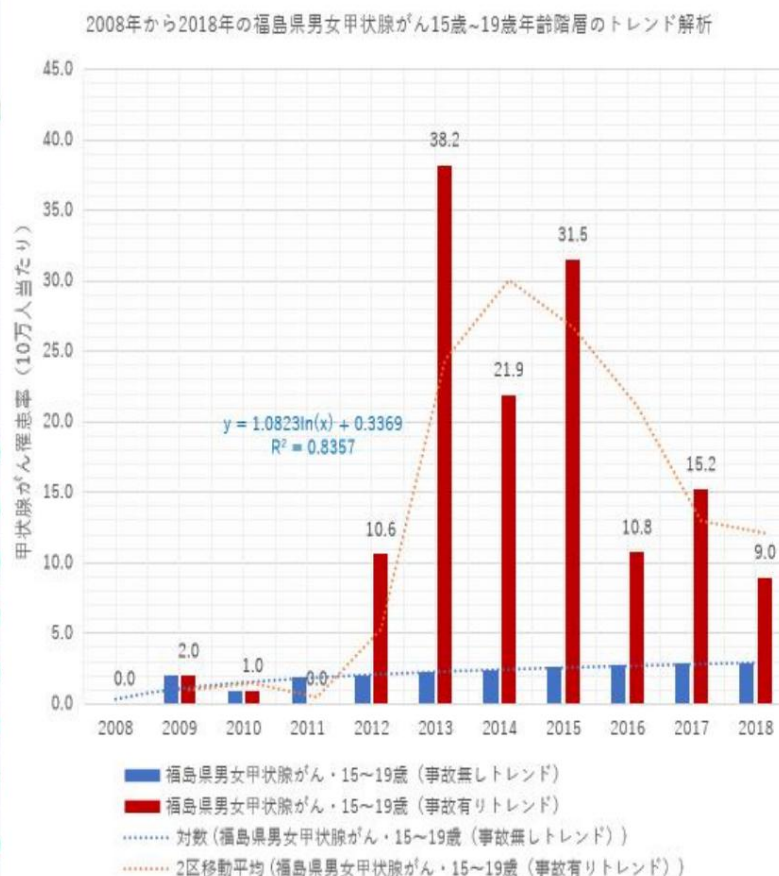
Trend analysis of thyroid cancer in men and women in Fukushima Prefecture from 2008 to 2018 in the 10 to 14 year old age group Note: The contribution rate of the nuclear power plant accident to the incidence of thyroid cancer in men and women aged 10 to 14 is 100%.

経過年	調査年	福島県男女甲状腺がん・10～14歳（事故無しトレンド）	福島県男女甲状腺がん・10～14歳（事故有りトレンド）	罹患率の過剰値	罹患率の原発事故寄与率(%)
1	2008	0.0	0.0		
2	2009	0.0	0.0		
3	2010	0.0	0.0		
4	2011	0.0	0.0		
5	2012	0.0	3.0	3.0	100
6	2013	0.0	7.2	7.2	100
7	2014	0.0	5.3	5.3	100
8	2015	0.0	9.8	9.8	100
9	2016	0.0	2.4	2.4	100
10	2017	0.0	3.7	3.7	100
11	2018	0.0	3.8	3.8	100
2011年から2018年の 平均値		0.0	5.0	5.0	100



Trend analysis of thyroid cancer in men and women in Fukushima Prefecture from 2008 to 2018 in the 15-19 year old age group Note: The average contribution rate of nuclear power plant accident factors to the incidence of thyroid cancer in men and women aged 15 to 19 is in the 90% range. .

経過年	調査年	福島県男女甲状腺がん・15～19歳（事故無しトレンド）	福島県男女甲状腺がん・15～19歳（事故有りトレンド）	罹患率の過剰値	罹患率の原発事故寄与率(%)
1	2008	0.0	0.0		
2	2009	2.0	2.0		
3	2010	1.0	1.0		
4	2011	1.8	0.0		
5	2012	2.1	10.6	8.5	80
6	2013	2.3	38.2	35.9	94
7	2014	2.4	21.9	19.5	89
8	2015	2.6	31.5	28.9	92
9	2016	2.7	10.8	8.0	75
10	2017	2.8	15.2	12.4	81
11	2018	2.9	9.0	6.1	67
2011年から2018年の平均値		2.5	17.1	17.0	99

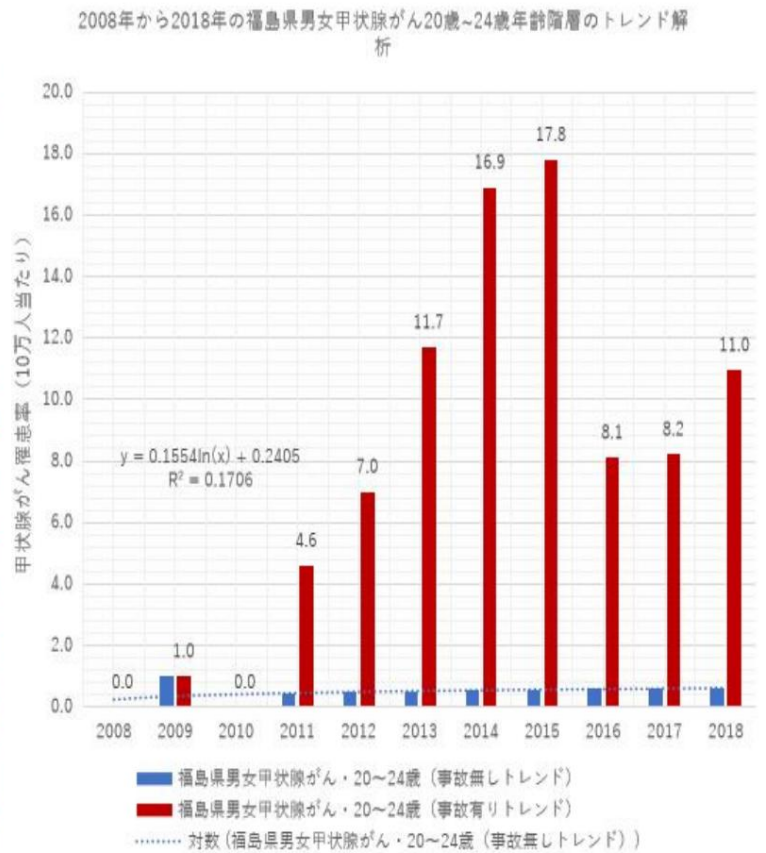


Trend analysis of thyroid cancer in men and women in Fukushima Prefecture from 2008 to

2018 in the age group of 20 to 24 years Note: The average

contribution rate (%) of nuclear power plant accident factors to the incidence of thyroid cancer in men and women aged 20 to 24 is 90%. It is a stand.

経過年	調査年	福島県男女甲状腺がん・20～24歳（事故無しトレンド）	福島県男女甲状腺がん・20～24歳（事故有りトレンド）	罹患率の過剰値	罹患率の原発事故寄与率(%)
1	2008	0.0	0.0		
2	2009	1.0	1.0		
3	2010	0.0	0.0		
4	2011	0.5	4.6	4.1	90
5	2012	0.5	7.0	6.5	93
6	2013	0.5	11.7	11.2	96
7	2014	0.5	16.9	16.4	97
8	2015	0.6	17.8	17.2	97
9	2016	0.6	8.1	7.5	93
10	2017	0.6	8.2	7.6	93
11	2018	0.6	11.0	10.3	94
2011年から2018年の平均値		0.5	10.7	10.1	95



Trend analysis of thyroid cancer in men and women in Fukushima Prefecture from 2008 to 2018 in the age group 35 to 39 Note: The average contribution rate (%) of the nuclear power plant accident to the incidence of thyroid cancer in men and women aged 35 to 39 is in the 80% range. It is.

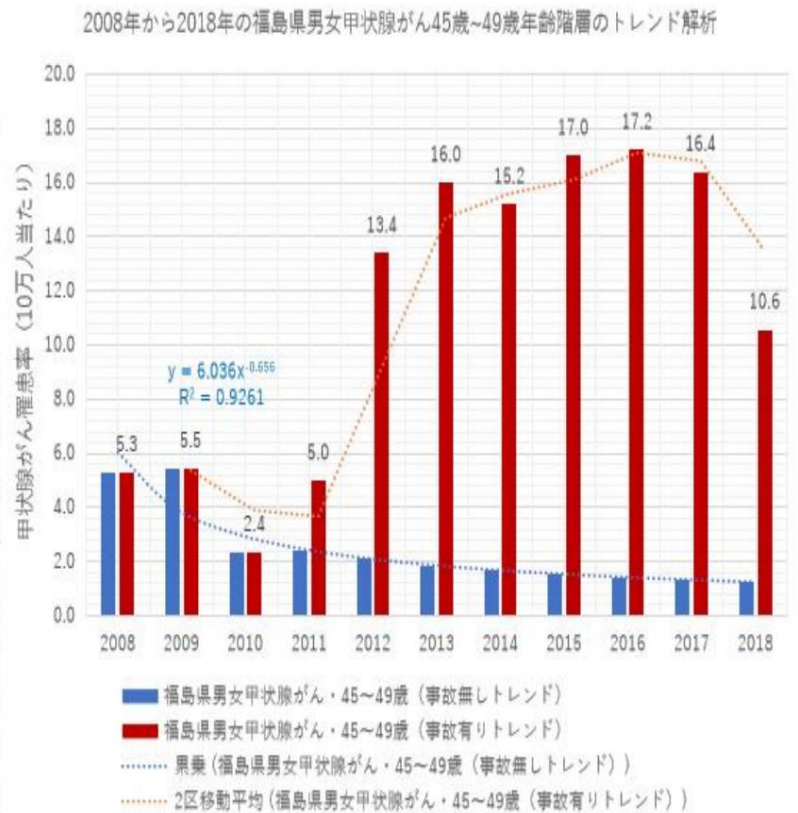
経過年	調査年	福島県男女 甲状腺がん・35~39 歳（事故無 しトレンド）	福島県男女 甲状腺がん・35~39 歳（事故有 りトレンド）	罹患率の 過剰値	罹患率の 原発事故 寄与率(%)
1	2008	8.7	8.7		
2	2009	6.3	6.3		
3	2010	3.1	3.1		
4	2011	2.7	7.6	4.9	64
5	2012	2.3	6.9	4.6	67
6	2013	1.9	11.1	9.2	83
7	2014	1.7	7.4	5.7	77
8	2015	1.5	9.3	7.8	84
9	2016	1.3	11.7	10.4	89
10	2017	1.2	19.4	18.2	94
11	2018	1.1	11.4	10.3	90
2011年から2018年の 平均値		1.7	10.6	8.9	84

2008年から2018年の福島県男女甲状腺がん35歳~39歳年齢階層のトレンド解析



Trend analysis of thyroid cancer in men and women in Fukushima Prefecture from 2008 to 2018 in the age group 45 to 49 Note: The average contribution rate of the nuclear power plant accident factor to the incidence of thyroid cancer in men and women aged 45 to 49 is in the 80% range. .

経過年	調査年	福島県男女 甲状腺がん・45～49 歳（事故無し トレンド）	福島県男女甲 状腺がん・ 45～49歳 （事故有りト レンド）	罹患率の 過剰値	罹患率の 原発事故 寄与率(%)
1	2008	5.3	5.3		
2	2009	5.5	5.5		
3	2010	2.4	2.4		
4	2011	2.4	5.0	2.6	51
5	2012	2.1	13.4	11.3	84
6	2013	1.9	16.0	14.1	88
7	2014	1.7	15.2	13.5	89
8	2015	1.5	17.0	15.5	91
9	2016	1.4	17.2	15.8	92
10	2017	1.3	16.4	15.1	92
11	2018	1.3	10.6	9.3	88
2011年から2018年の 平均値		1.7	13.8	12.1	88



Trend analysis of thyroid cancer in men and women in Fukushima Prefecture from 2008 to 2018 in the age group of 55 to 59 years Note: The average contribution rate of nuclear power plant accident factors to the incidence of thyroid cancer in men and women aged 55 to 59 is in the 40% range. .

経過年	調査年	福島県男女甲状腺がん・55～59歳（事故無しトレンド）	福島県男女甲状腺がん・55～59歳（事故有りトレンド）	罹患率の過剰値	罹患率の原発事故寄与率(%)
1	2008	10.8	10.8		
2	2009	7.3	7.3		
3	2010	11.5	11.5		
4	2011	9.9	8.5	0.0	
5	2012	9.9	16.4	6.5	39
6	2013	9.9	16.2	6.3	39
7	2014	9.9	17.1	7.2	42
8	2015	10.0	17.6	7.6	43
9	2016	10.0	23.9	13.9	58
10	2017	10.0	20.5	10.5	51
11	2018	10.0	21.7	11.7	54
2011年から2018年の平均値		10.0	17.7	8.0	45



Trend analysis of thyroid cancer in men and women in Fukushima Prefecture from 2008 to 2018 in the age group 65 to 69 Note: The average contribution rate of nuclear power plant accident factors to the incidence of thyroid cancer in men and women aged 69 to 69 is in the 20% range.

経過年	調査年	福島県男女甲状腺がん・65～69歳（事故無しトレンド）	福島県男女甲状腺がん・65～69歳（事故有りトレンド）	罹患率の過剰値	罹患率の原発事故寄与率(%)
1	2008	13.0	13.0		
2	2009	8.0	8.0		
3	2010	15.7	15.7		
4	2011	13.4	15.1	1.7	12
5	2012	13.7	18.7	5.0	27
6	2013	13.9	15.7	1.8	11
7	2014	14.1	15.5	1.4	9
8	2015	14.3	22.0	7.7	35
9	2016	14.5	15.2	0.7	5
10	2017	14.6	21.8	7.2	33
11	2018	14.8	21.3	6.5	30
2011年から2018年の平均値		14.2	18.2	4.0	22



[Author introduction] Profile of Mr. Kunihiro Yamada

Born in Osaka in 1943. After completing graduate school at Kyoto Institute of Technology in 1996, became an assistant at the Faculty of Engineering, Osaka University. Professor of Humanities at Kyoto Seika University since 1997. Director of the NPO Kino Environment, Doctor of Engineering, currently Kyoto Seika University professor emeritus.

Around 1970, he began research on environmental pollution in the Seto Inland Sea and Lake Biwa. Since 1980, he has been working on the problem of trihalomethane in tap water and groundwater contamination. Since the late 1980s, he has been working on the issue of golf course overdevelopment, and has been practicing environmental studies to find solutions from the perspective of the victims at the sites where environmental problems occur.

His books include "Golf Course Ruin (Fujiwara Shoten)", "CFCs Destroying the Earth (Iwanami Booklet)", "Why 600,000 Cancers Are Increasing in the Tokyo Metropolitan Area (Fyhysha)", and "Nuclear Fission and Toxic Substances". The Discovery of Tellurium (Fujiwara Shoten) and many others.

Tellurium Poison Book No.

4 "The cause of the high incidence of childhood thyroid cancer in Fukushima Prefecture after 2012 was 100% due to the nuclear power plant accident factor."

Distribution price: 500 yen (tax included)

Publication date: December 1, 2023 First edition first printing published

Author: Kunihiro Yamada

Publisher: Association for a ruling on the causes of radioactive pollution damage caused by the Fukushima nuclear power plant accident

Publisher: 2-19-2 Shimokaizuka, Ichikawa, Chiba 272-0821 Fujiwara-kata

TELy080-4868-7388 FAXy047-373-4006 E-mailyfujiwara.t2015@gmail.com